

ラック搭載機構（WD-RM1 / WD-RM2）

取扱説明書

このたびは、ラック搭載機構をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書には本製品を安全にお使いいただくための注意事項を記載しております。

本製品をご使用になる前に、必ず本書と搭載装置に添付の取扱説明書をお読みください。

2008年 2月初版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

ハイセイフティについて

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

本書の取り扱いについて

本書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。

本製品を使用する前に本書を熟読してください。特に本書に記載されている「安全上のご注意」をよく読み、理解されたうえで本製品を使用してください。また、本書は本製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

お客様の生命、身体、財産に被害をおよぼすことなく弊社製品を安全に使っていただくために細心の注意を払っています。本製品を使用する際には、本書の説明に従ってください。

マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容を表しています。

こんな事に気をつけて 本製品をご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。



警告

製造物責任法（PL）関連の警告事項を表しています。本製品をお使いの際は必ず守ってください。



注意

製造物責任法（PL）関連の注意事項を表しています。本製品をお使いの際は必ず守ってください。

本書における商標の表記について

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

警告表示について

本書では、人身への危害や財産を未然に防ぎ、本製品を安全に使用いただくために守っていただきたい事項を表示しています。以下の表示と記号の意味、内容をよくご理解のうえ、本書をお読みください。



警告

正しく使用しない場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを示します。



注意

正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。
また、本製品や本製品に接続している機器に損害を与えるおそれがあることを示します。

危害や損害の内容を示すために、以下の記号を使用しています。

記号	記号の意味
	△ で表示された記号は、警告や注意事項を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	○ で表示された記号は、してはいけない禁止行為を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。
	● で表示された記号は、必ず従っていただく行為の強制、指示を示しています。記号の中やその脇には、具体的な内容が記載されています。



警告

本製品を安全にお使いいただくために、必ずお守りください。正しく使用しない場合、死亡や重傷など、人体への重大な障害をもたらすおそれがあることを示します。

警告事項	
 注意	梱包に使用しているビニール袋は、お子さまが口に入れたり、かぶって遊んだりしないようにしてください。窒息の原因となります。 取り外したネジなどは、小さなお子さまが誤って飲み込むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。 万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意

正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うおそれがあることを示します。
また、本製品や本製品に接続している機器に損害を与えるおそれがあることを示します。

注意事項	
 注意	ラック搭載機構をラックに搭載した場合、ラック搭載機構の金具がラック裏面側支柱からはみ出します。 ラックの背面で作業する際は、はみ出している金具に注意してください。 負傷するおそれがあります。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについて

弊社では 1998 年より、法人のお客様から排出される弊社製品を「富士通りサイクルシステム」（有料）にて回収、リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでいます。製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には以下の富士通ホームページをご覧ください。

URL : <http://eco.fujitsu.com/jp/> 「富士通りサイクルシステム」

ラック搭載およびテーブルタップへの接続時のご注意



警告

装置をラックへ搭載する場合は、使用温度環境の管理、物理的安定性の確保、漏えい電流に対する注意が必要です。装置のラックへの搭載は、これらの知識を有した技術者が行ってください。感電、火災などの原因となります。

- 装置の動作保証温度、湿度を超えないように、ラック内外の温度と湿度を管理してください。
- 装置は、側面吸排気の構造となっております。吸気面および排気面をふさがないように設置してください。
- 搭載するラックの最大積載量を考慮して搭載してください。
- 設置場所の電源供給能力を確認して設置してください。
- 装置の電源ケーブルをテーブルタップに接続する場合、テーブルタップの接地線を通して大漏えい電流が流れることがあります。電源接続に先立ち、必ず接地接続を行ってください。電源ケーブルが分電盤に直接接続されない場合、工業用プラグをもったテーブルタップを使用してください（装置の漏えい電流は最大 0.25mA です）。

本書の構成

本書の構成と内容は、次のとおりです。

章タイトル	内 容
第 1 章 準備	ここでは、本製品を使って装置をラックに搭載する前の作業について説明します。
第 2 章 ラック搭載機構（1 台用）	ここでは、ラック搭載機構（1 台用：WD-RM1）を使って、装置をラックに搭載する方法について説明します。
第 3 章 ラック搭載機構（2 台用）	ここでは、ラック搭載機構（2 台用：WD-RM2）を使って、装置をラックに搭載する方法について説明します。

第1章 準備

ここでは、本製品を使って装置をラックに搭載する前の作業について説明します。



注意
ラック搭載機構をラックに搭載した場合、ラック搭載機構の金具がラック裏面側支柱からはみ出します。ラックの背面で作業する際は、はみ出した金具に注意してください。負傷するおそれがあります。

搭載可能装置

本製品を使ってラックに搭載できる装置は、WANDIRECTOR A100（WDA100）です。



- 装置を鍵がかかるラックに搭載して、電源ケーブルを同梱のケーブルホルダで固定する場合、ラック内部のサービスコンセントを使用してください。ラック外部のコンセントを使用する場合は、別途ラック内部で電源ケーブルを固定してください。電源ケーブルに外部からの張力が加わると、ケーブルホルダに不測の力が加わり、電源ケーブルの断線・接触不良を起こし、感電・火災の原因となります。
- 装置の設置時は、装置の電源を切ってください。感電・火災の原因となります。

準備するもの

本製品の組み立てやラックに搭載する前に、次のものを準備してください。

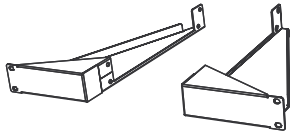
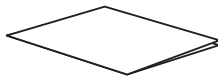
- プラスドライバー（ネジに合うものを準備してください）
- メジャー（富士通統合ラックを使用する場合は不要です）

梱包品を確認する

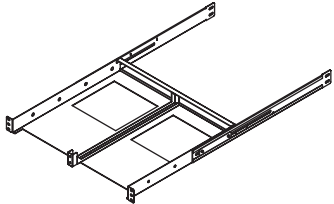
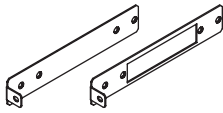
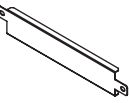
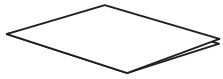
本製品をお使いになる前に、梱包品を確認してください。

本製品には、それぞれ次のものが同梱されています。すべてそろっていることを確認してください。

● ラック搭載機構（1台用：WD-RM1）

梱包品	数	説明
ラック固定金具本体 	1セット	装置をラックに取り付けるための金具（右用、左用）です。
ケージナット 	4個	ラック固定金具とラック支柱を固定する金具です。
M4 サラネジ 	6個	装置とラック固定金具を取り付けるためのネジです。
M5 ネジ 	4個	ラック固定金具をラックに固定するためのネジです。
ラック搭載機構 取扱説明書 	1冊	本書です。

● ラック搭載機構（2台用：WD-RM2）

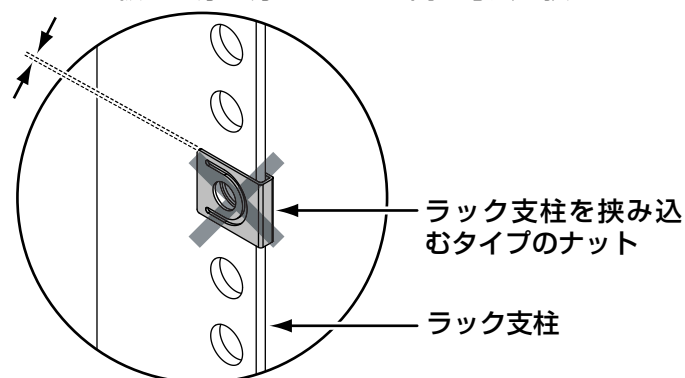
梱包品	数	説明
ラック搭載機構本体 	1 セット	装置をラックに取り付けるための金具です。 次のものがセットになっています。 搭載枠、板ナット×2枚、M4 サラネジ×4個、 スライドレール×2枚
装置固定金具 	2 セット	装置をラック搭載機構本体に固定するための金具です。 内側用と外側用があります。
ブランク板 	1 枚	ラック搭載機構本体に装置を一台だけ取り付けただけの場合、他方の目隠し用金具です。
L字金具 	2 個	ラック搭載機構本体とラック裏面支柱を固定する金具です。
ケージナット 	10 個	ラック搭載機構と装置（固定金具）を、ラックの支柱に固定する金具です。
M4 サラネジ 	8 個	装置と装置固定金具を取り付けるためのネジです。
M5 ネジ 	16 個	ラック搭載機構と装置（固定金具）を、ラックに固定するネジです。
ラック搭載機構 取扱説明書 	1 冊	本書です。

添付のネジとケージナットについて

ラックおよびラックの支柱の穴の形状により、同梱のネジおよびケージナットが使用できないことがあります。この場合は、ラックに合った固定用のネジおよびナットを用意してください。

なお、ラックの支柱をはさみ込むタイプのナットを使用すると、ラックの間口を狭めてしまうため、装置が搭載できない場合があります。ナットの選定には、注意してください。

ナットの板金の厚み分、ラックの間口寸法が狭くなる



各ラック搭載機構の組み立てやラックへの搭載手順については、以下を参照してください。

製品	参照先
ラック搭載機構（1台用：WD-RM1）	第2章 ラック搭載機構（1台用）(P.6)
ラック搭載機構（2台用：WD-RM2）	第3章 ラック搭載機構（2台用）(P.8)

第2章 ラック搭載機構（1 台用）

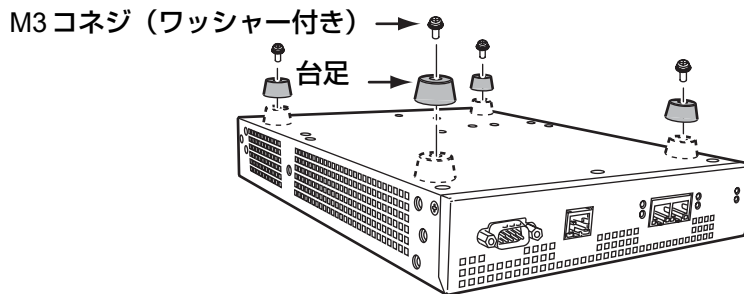
ここでは、ラック搭載機構（1 台用：WD-RM1）を使って、装置をラックに搭載する方法について説明します。

ラックに取り付ける

ラック搭載機構の取り付けとラックへの搭載手順を示します。

1. 装置から台足を取り外します。

上面と底面を逆にして平らな場所に置き、台足（4 個）を取り外します。



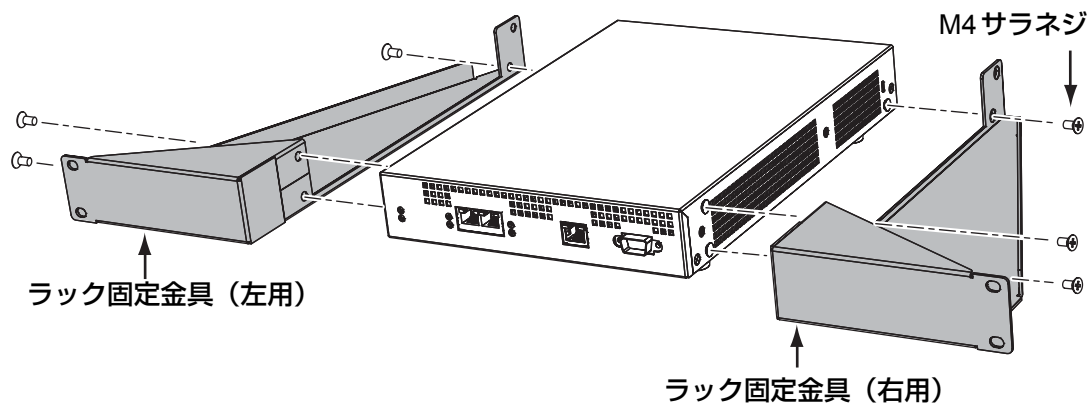
2. 装置にラック固定金具を取り付けます。

M4 サラネジ（6 個）で固定します。

こんな事に気をつけて

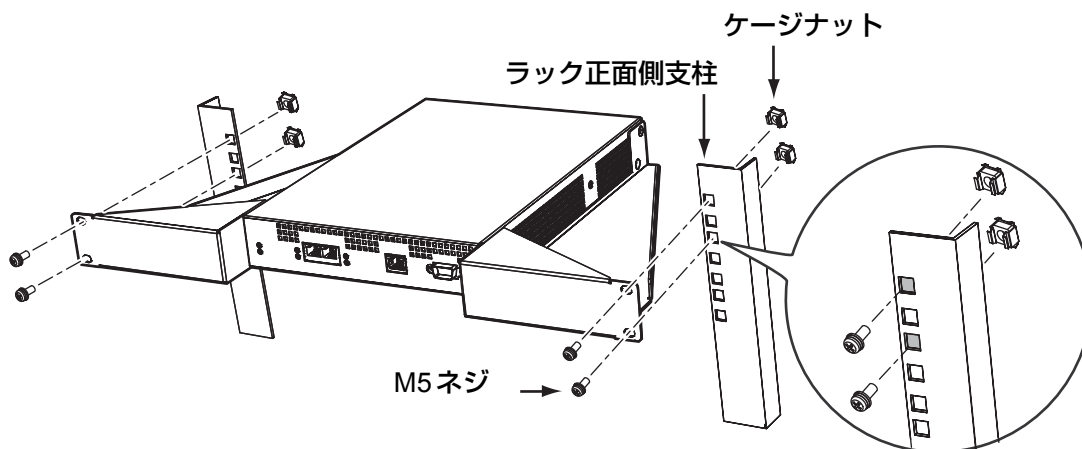
装置にラック固定金具を取り付ける前に、バイパススイッチの設定をしてください。

バイパススイッチの設定に関しては、「WANDIRECTOR A100 取扱説明書」を参照してください。



3. ラックに搭載します。

ラック固定金具を取り付けた装置を、ラック正面側支柱の内側からケージナット（4 個）、外側から M5 ネジ（4 個）で固定します。



ラックから取り外す

ラックから取り外す場合は、「ラックに取り付ける」（P.6）の逆の手順で行います。

第3章 ラック搭載機構（2 台用）

ここでは、ラック搭載機構（2 台用：WD-RM2）を使って、装置をラックに搭載する方法について説明します。

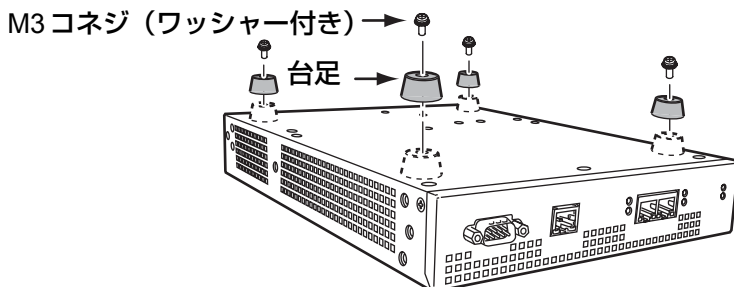
ラックに取り付ける

ラック搭載機構の取り付けとラックへの搭載手順を示します。

ラック搭載機構を組み立てる

1. 装置から台足を取り外します。

上面と底面を逆にして平らな場所に置き、台足（4 個）を取り外します。



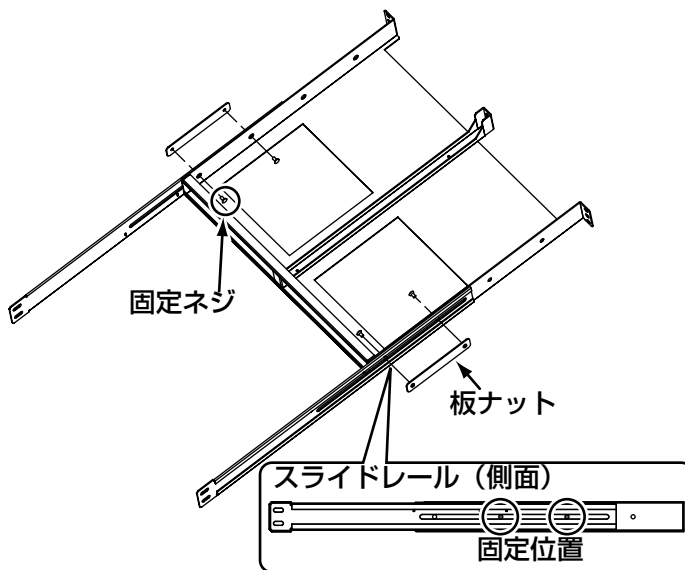
2. ラック正面と背面の支柱間の距離を測ります。

設置する支柱間の距離によって、次の作業を行います。

なお、富士通総合ラックの支柱間の距離は 740mm です。

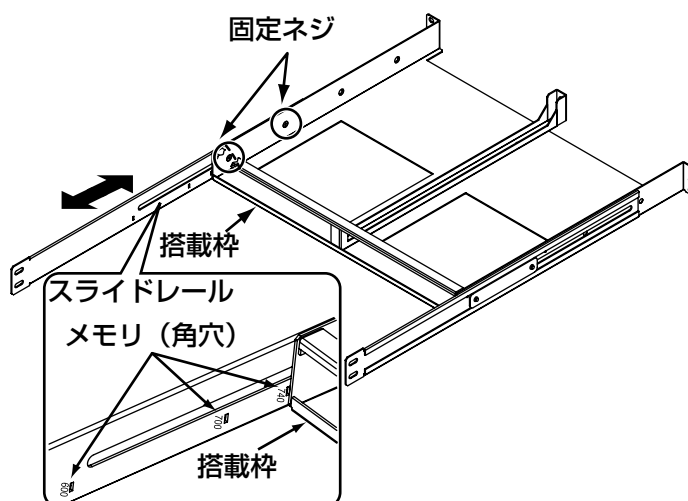
● 支柱間が 500mm 以上 650mm 未満の場合

1. いったん、板ナットを搭載枠から取り外します。
板ナットは、スライドレールの固定ネジを外して取り外します。
2. スライドレールを設定位置まで移動し、「固定位置」に取り外した板ナットを固定します。



● 支柱が 650mm 以上 760mm 以下の場合

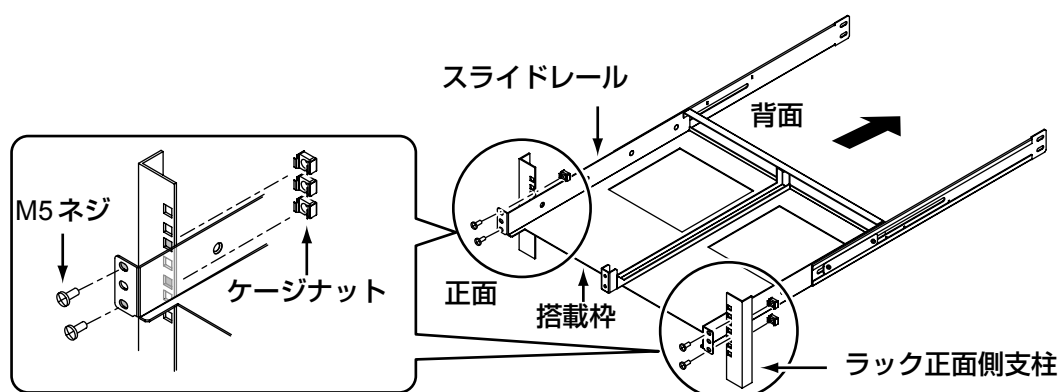
1. スライドレールの固定ネジをゆるめ、支柱間の距離に合わせてスライドレールをスライドさせます。
2. 搭載枠にスライドレールのメモリ (角穴) を合わせて固定します。
なお、メモリ以外の長さに合わせて調整する場合は、メジャーなどを使って調整してください。



ラック搭載機構をラックに搭載する

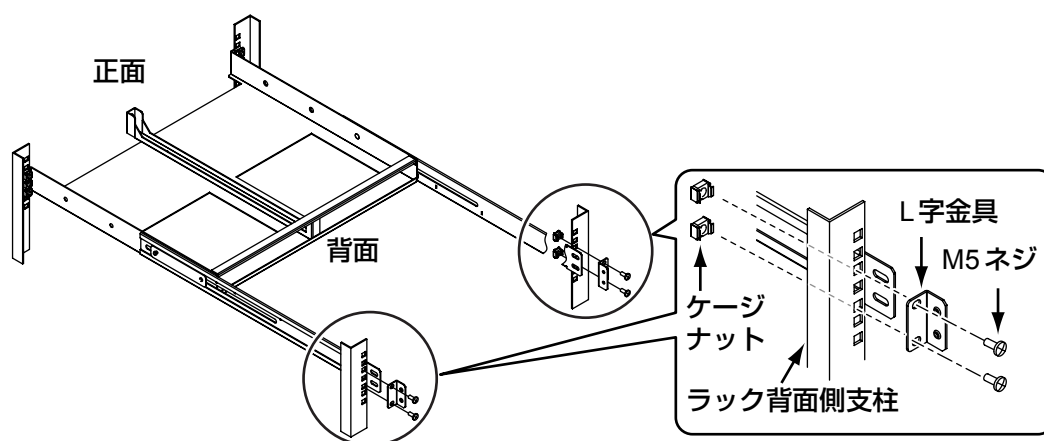
1. ラック搭載機構をラック正面側の支柱に固定します。

搭載枠をラック正面側支柱の内側からケージナット (6 個)、外側から M5 ネジ (4 個) で固定します。

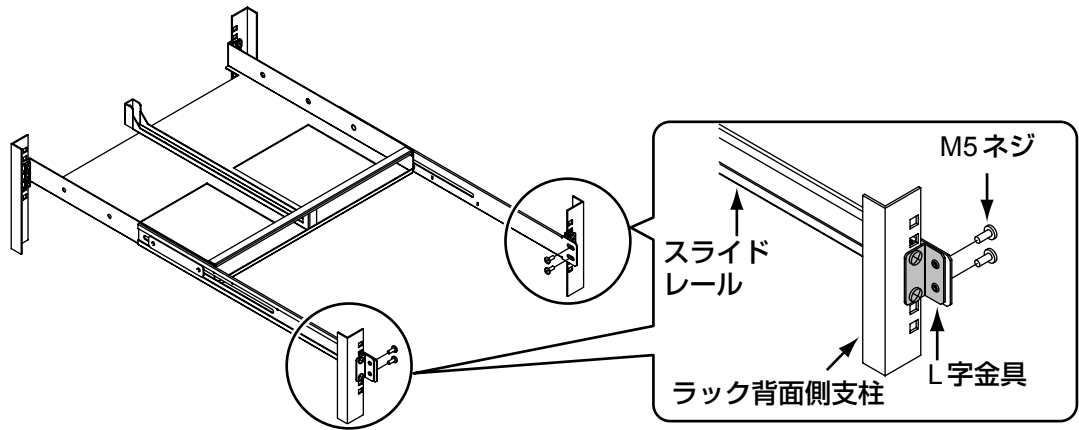


2. L 字金具をラック背面側の支柱に固定します。

ラック背面側支柱の内側からケージナット (4 個)、外側から M5 ネジ (4 個) で固定します。



3. スライドレールを M5 ネジで L 字金具に取り付けます。



装置を搭載する

こんな事に気をつけて

装置に装置固定金具を取り付ける前に、バイパススイッチの設定をしてください。
バイパススイッチの設定に関しては、「WANDIRECTOR A100 取扱説明書」を参照してください。

1. 装置固定金具（2 個）を M4 サラネジで装置に取り付けます。

装置固定金具は、オフセットありとなしとで取り付け位置が異なります。

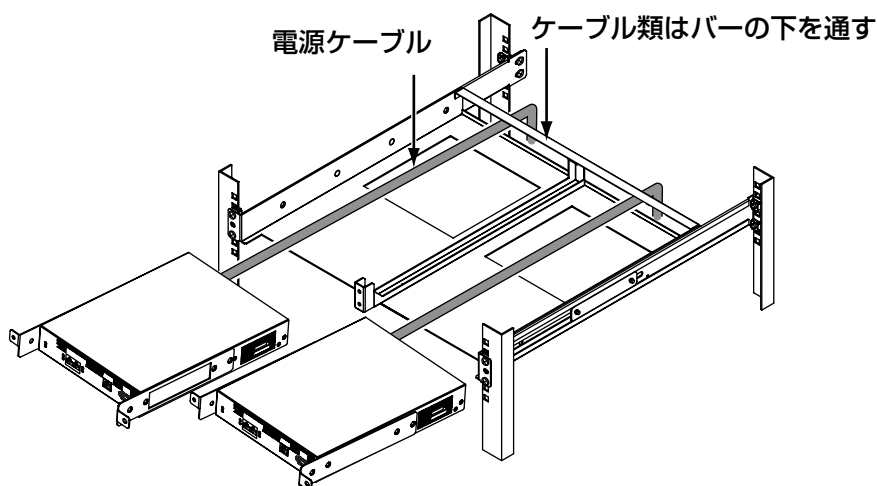
	搭載枠の左側に搭載	搭載枠の右側に搭載
オフセットあり（ラック正面側支柱から 30mm 奥に搭載）	装置固定金具（外側用） 装置固定金具（内側用） ● ネジ止め位置	装置固定金具（内側用） 装置固定金具（外側用） ● ネジ止め位置
	搭載枠の左側に搭載	搭載枠の右側に搭載
オフセットなし（ラック正面側支柱と同面に搭載）	装置固定金具（外側用） 装置固定金具（内側用） ● ネジ止め位置	装置固定金具（内側用） 装置固定金具（外側用） ● ネジ止め位置

2. 搭載する装置にケーブル類を接続します。

接続するケーブル類は、ラック背面の搭載枠の中を通して、ラック正面まで引き出します。

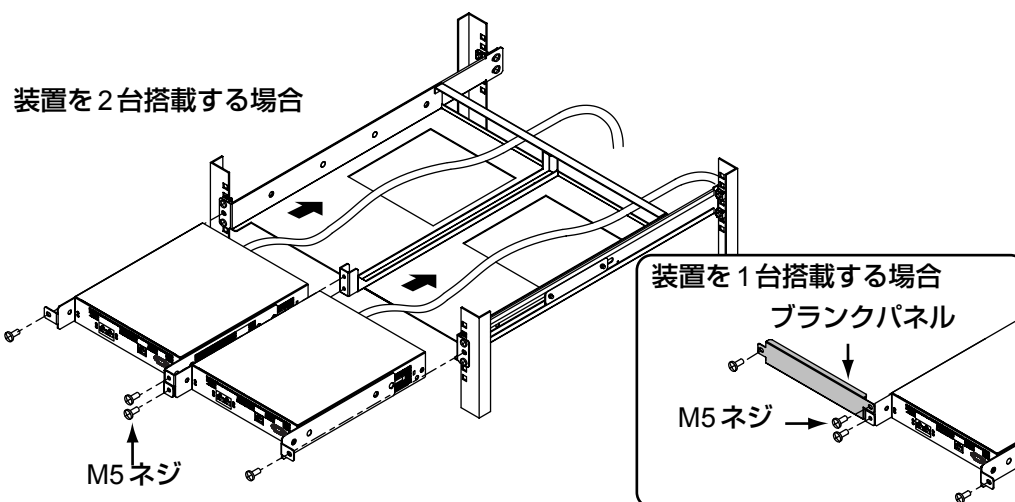
こんな事に気をつけて

装置をラックに搭載する前に、装置に電源ケーブルとケーブルホルダを取り付けてください。
搭載後、上下に搭載されている装置によって、電源ケーブルとケーブルホルダが取り付けられない場合があります。



3. 装置をラック搭載機構に搭載します。

装置を搭載枠にスライドさせながら搭載し、M5 ネジ（1 装置で 2 個）で固定します。



ラックから取り外す

ラックから取り外す場合は、「ラックに取り付ける」（P.8）の逆の手順で行います。



ラック搭載機構 (WD-RM1 / WD-RM2)

取扱説明書

TA90001-8974

発行日 2008 年 2 月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 弊社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。